

VII 市立小・中学校の概要

小平市の市立小・中学校は、それぞれに教育目標とこれを達成するための基本方針を掲げ、教育活動を行っています。

次のページからは、各校の概要を紹介します。

市立小・中学校一覧

	学校名	所在地
小学校	小平第一小学校	小川町 1-1082
	小平第二小学校	仲町 310
	小平第三小学校	回田町 118
	小平第四小学校	学園西町 1-34-1
	小平第五小学校	花小金井 6-24-1
	小平第六小学校	小川東町 3-1-2
	小平第七小学校	大沼町 1-22-1
	小平第八小学校	鈴木町 1-355
	小平第九小学校	鈴木町 1-82
	小平第十小学校	上水本町 4-4-1
	小平第十一小学校	花小金井 4-16-1
	小平第十二小学校	小川町 1-464
	小平第十三小学校	小川西町 1-22-1
	小平第十四小学校	仲町 33
	小平第十五小学校	小川町 2-1136
	花小金井小学校	花小金井 1-35-1
	鈴木小学校	鈴木町 1-450
	学園東小学校	学園東町 2-15-1
上宿小学校	小川町 1-327	
中学校	小平第一中学校	仲町 506
	小平第二中学校	小川東町 1-17-1
	小平第三中学校	鈴木町 1-311
	小平第四中学校	学園西町 1-3-1
	小平第五中学校	小川町 1-798
	小平第六中学校	大沼町 6-4-1
	上水中学校	上水南町 1-7-1
花小金井南中学校	花小金井南町 1-9-1	

注) 次ページ以降に掲載する児童・生徒数、学級数及び教職員数は、いずれも令和6年5月1日現在



小平第一小学校

所在地 小平市小川町一丁目1082番地
 電話 042-341-0008 FAX 042-341-0052
 電子メール gakkou@01.kodaira.ed.jp
 校長 内藤 章 副校長 生田 誠
 児童数 502名
 学級数 20学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
 教職員数 31名

【沿革】（抜粋）

明治6年 協同学舎、小川妙法寺に創設
 13年 小川小学校と改称
 25年 第一小平尋常小学校と改称
 28年 小平村立第一尋常小学校と改称
 30年 小平村立第一小平尋常小学校と改称
 42年 校舎新築 小平尋常小学校創立
 昭和4年 小平村立第一小平尋常高等小学校と改称
 11年 校旗制定（月桂樹の校章）
 16年 小平村立小平第一国民学校と改称
 19年 小平町立小平第一国民学校と改称
 22年 小平町立小平第一小学校と改称
 37年 小平市立小平第一小学校と改称
 校歌制定 学校給食開始
 44年 プール完成
 47年 新校舎完成
 48年 体育館完成
 50年 若竹学級開設
 平成12年 パソコンルーム設置
 15年 小平第十二小学校にけやき学級創設
 （本校より分離）
 創立130年記念式典実施
 16年 小平市研究協力校発表
 18年 耐震補強工事・校舎等外壁塗装
 エレベーター・バリアフリートイレ設置
 23年 太陽光発電設備設置
 24年 全校空調設備設置
 25年 創立140年記念式典実施
 26年 体育館床張替工事
 28年 小平市研究奨励校研究発表会
 令和3年 校舎外壁塗装完了
 4年 東京都型学校運営協議会設置
 5年 コミュニティ・スクール設置
 創立150周年記念式典挙行
 文部科学省研究開発学校に指定

【教育目標】

人権尊重の精神を基調に、生涯学び続ける国際性豊かな日本人の育成を目指して、以下の教育目標の具現化に努める。

○考える子：異なる意見を受け入れ、深く考え主体的・創造的に問題解決に取り組む子供

◎やさしい子：自他の生命を尊重し、共感し、人が喜ぶ姿を見て喜べる子供

○やりぬく子：目標に向かって努力し、失敗しても何度でも挑戦する子供

○元気な子：自ら抵抗力を高め、誰とでも協同する子供



学習者用端末を生活科で活用



【教育目標を達成するための基本方針】

学校経営の方針を具体化するために、「小・中連携教育」を着実に進めながら、4つの重点「学力の向上」「健全育成」「地域連携」「働き方改革」を中心に、教育活動を進める。

- (1) 学力の向上《わからないゼロを目指して》
 - ①1単位時間（45分）を絶対に確保する。
 - ②「分かる」「できる」授業への工夫をする。
 - ③家庭学習の時間を確保し、（10分×学年）を全校で推進。
 - ④デジタルドリルの活用をすすめる。
 - ⑤タッチタイピングの取組を全校で推進する。
 - ⑥学習環境を整備する。
 - ⑦2年以上の算数は習熟度別指導を徹底する。
 - ⑧プログラミング教育を推進する。
 - ⑨週案簿の活用で、意図的計画的指導をする。
- (2) 健全育成《いじめをしない させない を目指して》
 - ①科学的根拠のある生活指導に転換する。
 - ②生活規律を徹底する。
 - ③個性の伸長を意識した指導をする。
 - ④社会性を全校的な取組で育成する。
 - ⑤食育は具体的な体験を通して実施する。
 - ⑥挨拶を重点に取り組み、落ち着いた学校生活をつくる。
 - ⑦教育活動の整備に努め、美しい学校をつくっていく。
 - ⑧UD（ユニバーサルデザイン）を授業の中核とする。
 - ⑨特別支援学級・特別支援教室の指導内容を充実する。
 - ⑩交流・共同学習の推進で人間関係づくりをする。
 - ⑪よつば教室と連携する。
 - ⑫知的障害・発達障害等の特性に配慮して授業をする。
- (3) 地域連携《地域とともにある学校を目指して》
 - ①学校経営協議会を年に8回程度実施する。
 - ②ボランティア組織の充実を図る。
- (4) 働き方改革《魅力ある教職 持続可能な教育活動を目指して》
 - ①業務量を削減し、時間管理を徹底する。
 - ②人を確保して、業務量の削減を図る。
 - ③学校行事の見直しで学校のスリム化を実現する。
- (5) 校内研究《共に学び 教師として腕をあげる》

生活科と総合的な学習の時間のあり方を、授業研究を通して研究する。
- (6) 教育課程《スクラップ・スクラップ&ビルドで》
 - ①校務分掌の再編を実施する。
 - ②業務マニュアルの改訂を行う。
 - ③会議を精選（スクラップの推進）する。
 - ④会議を効率化する。



小平第二小学校

所在地 小平市仲町310番地
電話 042-341-0033 **FAX** 042-341-1945
電子メール gakkou@02.kodaira.ed.jp
校長 小林 広二 **副校長** 石岡 洋平
児童数 565名
学級数 28学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕5学級）
（うち特別支援学級（難聴・言語障害〔通級〕）5学級）
教職員数 39名

【沿革】（抜粋）

明治6年 本校の前身となる文畚学舎・新恋学舎・櫃玉学舎設立
13年 野中小学校と改称
25年 第二小平尋常小学校と改称
昭和4年 現在地に校舎新築、第二小平尋常小学校及び小平尋常高等小学校を廃校し、小平村立第二小平尋常高等小学校として開校
37年 若草学級（特別支援学級）を開設
小平市立小平第二小学校と改称
53年 ことばの教室（通級指導学級）を開設
平成11年 パソコン室完成
13年 小平市高齢者交流室開所
14年 ビオトープ設置
16年 小平市教育委員会研究協力校として研究発表（地域連携）
18年 東京都教育委員会人権尊重教育推進校として研究発表（人権教育）
20年 開校80周年記念式典挙行
21年 きこえの教室（通級指導学級）開設
令和元年 小平市教育委員会研究推進校として研究発表（道徳）
2年 東京都型学校運営協議会設置
3年 コミュニティ・スクール設置
4年 避難所運営準備会、創立150周年実行委員会発足
5年 創立150周年式典挙行

【学校教育目標】

考える子 自分の考えをもち、判断し、行動できる子
やりぬく子 元気でたくましく、最後まで頑張る子

◎思いやりのある子 相手の立場や気持ちを考え、共に生きる豊かな心をもつ子

【教育目標を達成するための基本方針】

1 考える子（確かな学力の定着向上）

- (1) 基礎的・基本的な学力の定着
 - ・年間行事の見直しを図り授業時数確保を徹底して行う。
 - ・東京ベーシックドリル診断シートや全国学力学習状況調査等で児童の学習状況を分析し、授業改善に取り組む。
 - ・朝学習や補習授業、家庭学習の充実を図り、個に応じた指導をする。併せて学習者用端末を活用して家庭学習の充実を図る。
 - ・特別支援学級・教室と指導方法や教材を共有したり、交流を図ったりすることで個別指導の強化を図る。
- (2) 言語活動の充実
 - ・全教科で話型や系統表、にこにこことばの宝箱等を活用し言語活動の充実を図り言語能力の育成を図る。
 - ・各教科や読書活動で、図書室、学習情報センターを利用した活動の充実を図り、読書活動の推進に取り組む。
- (3) 学習者用端末を効果的に活用する授業の実現
 - ・校内研究で、授業での学習者用端末の効果的な活用につ

いて研究を推進し、活用力・指導力の向上を図る。

2 やりぬく子（健やかな体の育成）

- (1) 健康・安全教育の徹底
 - ・体力テストの結果を踏まえた体育科指導の充実と「楽しみながら運動プログラム」を基に体育的活動を設定し、児童の体力や抵抗力の向上に取り組む。
 - ・毎月の安全指導日に「安全教育プログラム」を活用した指導やセーフティ教室、交通安全教室等の講師を招聘しての体験型指導の充実を図る。
 - ・防災教育の見直しと強化を優先課題とする。教室移動等、全ての教育活動を行う空間に防災頭巾を持ち込み、緊急事態に備えるとともに、児童の防災意識を向上させる。

(2) 生活指導の充実

- ・全校で、「二小あいうえお」の取組を推進し、基本的な生活習慣、場に応じたあいさつ、相手の立場に立った望ましい言動等の態度の育成に取り組む。
- ・各学級で「いじめゼロ宣言」で採択した合言葉を受けて目標を掲げ、いじめ未然防止の取組を推進する。
- ・いじめ対策会議を月1回及び対応が必要な事案が発生した際は即時開催し組織的に迅速に対応する。

3 思いやりのある子（豊かな心の育成）

(1) 道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳授業」を実践し、道徳科と教育活動全体との関連を図り授業改善に取り組む。

(2) 多様な交流活動の実現

- ・異年齢集団や若草学級との交流・共同活動・副籍児童との交流を積極的に推進することでお互いに認め学び合う態度を育てる。

(3) 勤労・奉仕活動の強化

- ・教育活動全体を通して、勤労の尊さや奉仕活動の大切さを体得させ、協力・協働して取り組む態度を育てる。

【若草学級（特別支援学級）の教育目標】

一将来、社会の一員として自立できることを目指す一

- ① 自分でよく考え、行動できることも
- ② 生活に必要な能力や技能をもち、生かせることも
- ③ 集団の決まりや社会のルールがわかり、いろいろな人と交流できることも
- ④ 健康で明るく、最後までがんばろうとすることも

【きこえとことばの教室の教育目標】

（難聴・言語障害指導通級学級）

聴覚や言語に困難のある児童が学校生活や社会生活によりよく適応できるよう、困難を主体的に改善するための知識や技能や態度及びコミュニケーション能力を身に付けることができるようにする。

【特色ある教育活動】

- 1 創立150周年事業による成果の継続
- 2 特別支援教育の推進
- 3 全教科における言語能力の向上推進
- 4 運動することの喜びや楽しさを味わわせる体育科の充実
- 5 特別活動の推進による児童の自尊感情の育成
- 6 学校経営協議会をはじめとした地域・家庭との連携





小平第三小学校

所在地 小平市回田町118番地
 電話 042-321-0189 FAX 042-321-0614
 電子メール gakkou@03.kodaira.ed.jp
 校長 木田 明男 副校長 西浦 幸三
 児童数 708名 学級数 23学級
 教職員数 33名

【沿革】 (抜粋)

- 明治13年 回田新田に私立桜蔭学校を創設
- 25年 第四小平尋常小学校と改称
- 42年 第三小平尋常小学校と改称
- 大正9年 旧校舎から現在地に新築移転
- 昭和16年 小平第三国民学校と改称
- 22年 小平第三小学校と改称
- 30年 児童通学用「小桜橋」が完成
- 35年 新しい校歌を制定
- 47年 プール・体育館完成
- 48年 鉄筋校舎の増改築が行われ、20教室完了
- 51年 鈴木小の開校にあたり、児童138名転出
- 55年 開校100周年記念式典
- 平成2年 開校110周年記念式典、プール全面改修
- 12年 開校120周年記念式典、コンピュータ室設置
- 17年 研究協力校発表会 (算数)
- 19年 特色ある教育活動推進校
- 20年 コミュニティ・スクール推進事業委嘱校
- 21年 コミュニティ・スクールに指定
- 22年 開校130周年記念式典、放課後子ども教室開始
- 25年 教室等・空調設備完備 (全教室)
東京都言語能力向上推進校研究発表会
優れた「地域による学校支援活動」文部科学大臣賞 受賞
- 26年 東京都子供の体力向上推進優秀校
- 27年 「三小放課後子ども教室」東京都学校支援団体感謝状表彰
- 28年 オリンピック・パラリンピック教育重点校
- 29年 小平市研究推進校 東京都情報教育推進校
- 30年 校地拡大
小平市研究推進校発表会 (特別の教科 道徳)
- 令和元年 青少年赤十字加盟校
東京消防庁応急手当奨励教育機関に指定
- 2年 開校140周年記念集会 航空写真撮影 記念品制作
- 3年 文部科学省国立教育政策研究所・教育課程実践検証協力校
文部科学省・学習者用デジタル教科書実証事業校
特色ある教育活動推進校
東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校
- 4年 文部科学省国立教育政策研究所・教育課程実践検証協力校
文部科学省・学習者用デジタル教科書実証事業校
小平市教育委員会研究奨励校
- 5年 文部科学省・学習者用デジタル教科書実証事業校
小平市教育委員会研究推進校 (2年次)
- 6年 特色ある教育活動推進校

【教育目標】

○考える子、◎やさしい子、○元気な子
 を本校の教育目標とし、学校・家庭・地域が互いに育て合い、『子ども一人一人が輝く学校』を目指す。



【教育目標を達成するための基本方針】

- 児童一人一人が学校や地域への愛着をより一層深めていけるように、「学校・保護者・地域の連携」「これまでを振り返り感謝することとこれからの展望し希望をもつこと」をキーワードに、コミュニティ・スクールとしての教育活動を展開する。
- 学級活動を中心に特別活動を充実させ、合意形成を図る力を育成する。また、「青少年赤十字加盟校」としての取組を進めることで互いの立場や相手のよさを認め合う思いやりのある子を育成していく。
- 児童の学力向上に向けて、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を図る。児童が「分かる喜び」「やり遂げた喜び」「成長する喜び」を実感できる教育を推進する。学力向上のための指導体制の充実と、適正な評価を実施する。言語活動、体験活動、読書活動を充実させる等、指導の方法や内容を多様に工夫する。
- Society5.0の時代、予測困難な時代にも持続可能な社会の創り手となる人材の育成に向けて、ICTを効果的に活用しながら、主体的・対話的で学びのある授業を通して、自ら課題を解決していく力を育む。
- 体力テストの結果を踏まえて体育指導を改善したり、体力向上週間を設けて運動の日常化を図ったりして、体育的活動を充実させる。
- 児童の健全育成に向けて、基本的な生活規範の形成・定着を目指すとともに、いじめの早期発見と未然防止に努め、「自分も人も大切に、大切にされる心が育つ、安心・安全な学校」を目指す。道徳教育や人権尊重教育、キャリア教育、生活・安全指導を推進する。
- 特別支援教育の視点をもって、誰もが分かる授業のために学習環境や生活環境を整備する一人一人の児童を支援する組織的な校内体制を充実させ、関係する他校や関係機関と連携した取組を進める。
- オリンピック・パラリンピック教育では、全ての教育活動の様々な教育実践に関連付けて系統的に指導するとともに、日本人としての自覚や豊かな国際感覚、ボランティアマインドを醸成する。
- 令和6年度、特色ある教育活動研究推進校の指定を受け、特別活動と特別な教科道徳の指導を重点的に取り組む。話し合いを通して、「折り合い」を付けながら学校生活をよりよくする考え方や実践を積み重ねる。また、「考え、議論する道徳」を推進し、道徳的な判断力、心情、実践意欲及び態度の育成を図る。



学級活動の様子



小平第四小学校

所在地	小平市学園西町一丁目34番1号
電話	042-341-0241 FAX 042-341-1002
電子メール	gakkou@04.kodaira.ed.jp
校長	早川 和男 副校長 栗原 由紀子
児童数	386名
学級数	18学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級 （うち特別支援学級（情緒障害〔固定〕）2学級）
教職員数	28名

【沿革】（抜粋）

昭和29年	小平町立小平第一小学校分校として開校
31年	小平町立小平第四小学校創立 校旗制定
35年	校歌制定
44年	プール完成
46年	体育館完成
51年	20周年記念式典挙行
57年	現校舎落成
61年	30周年記念式典挙行
平成8年	40周年記念式典挙行
10年	文部省・都教委研究協力校（平成12年度まで）
12年	特色ある教育活動推進校（市指定）
13年	小平市教育委員会研究推進校 ボランティア協力推進校（平成15年度まで）
14年	小平市教育委員会研究協力校
15年	特色ある教育活動推進校（市指定） 英語体験活動指定校（市指定）
16年	こだいら地域子ども教室実践校（文科省）
17年	地域教育プラットホーム事業（東京都）
18年	50周年記念式典挙行
19年	コミュニティ・スクール推進事業（文科省）
20年	小平市コミュニティ・スクール指定校
21年	特色ある教育活動推進校（市指定）
22年	特別支援学級（ならのみ学級）開設 スポーツ推進校（東京都）（平成23年度まで）
23年	小平市コミュニティ・スクール指定校（第二期） 安全教育推進校（東京都）
24年	特色ある教育活動推進校（市指定）
25年	・エレベーター・太陽光発電設置 ・非常時電源設備設置 ・校舎等外壁塗装
26年	小平市コミュニティ・スクール指定校（第三期）
28年	60周年記念式典挙行
29年	小平市教育委員会研究推進校 小平市コミュニティ・スクール指定校（第四期）
30年	小平市教育委員会研究推進校発表
令和4年	自閉症・情緒障がい特別支援学級（固定制）の 設置決定
6年	自閉症・情緒障がい特別支援学級開設

【教育目標】

「他者と豊かにかかわり、知性を働かせ、明日を切り拓く子ども」の育成を図るために、次の教育目標を設定する。
 ○健康な子 ◎考える子 ○やさしい子 ○おこなう子
 他者と豊かにかかわり→他者を思いやる子ども（やさしい子）
 知性を働かせ→身に付けた知識・技能を活用する子ども（考える子）
 明日を切り拓く子ども→たくましく（健康な子）
 行動する子ども（おこなう子）



【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 人権尊重の精神を大切にした教育の推進**
→ 「健康な子・やさしい子・おこなう子」
「児童一人一人の人権を尊重するという事は、学ぶ楽しさ、仲間と触れ合う喜び、自己の成長を実感できるようにすること」を教職員及び本校の教育活動に関わるすべての人々共通の教育方針とする。そのために、人権教育を学校での全教育活動を通して行う。そして、児童に人権尊重・生命尊重について正しく認識させ、「一人一人の違いを認め、他者を尊重する心を育てる」ことを教育活動の根幹とする。
- 2 学力の向上 → 「考える子」**
児童一人一人に達成感や充足感をもたせる授業を創造する自覚をもち、個を生かす授業はもとより、主体的・対話的で深い学びを通して、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力の育成をめざし、授業改善を推進する。
- 3 健全育成の推進 → 「健康な子・やさしい子」**
児童一人一人を様々な視点から複数で把握し児童理解を図り、専科、養護教諭、生活指導部、スクールカウンセラー等、学校職員全体としてのチーム力で指導に当たる。また、児童の発達段階に応じて「きまり」の必要性を理解させ、社会生活上のルールや基本的モラル・規範意識を育成する。更に、家庭と学校、地域が同じ視線に立ち、家庭教育の支援に取り組む。
- 4 体力の向上・健康の保持増進**
→ 「健康な子・おこなう子」
児童の体力等の現状を踏まえつつ、児童の運動・スポーツに対する関心や意欲及び体力の向上を図る。また、健康づくりのために食育を重視した取組を行う。
- 5 キャリア教育の推進 → 「おこなう子」**
「自己肯定感」と「将来設計力」を高めるための視点をもち、「キャリア教育」を推進していく。
- 6 特別支援教育の充実 → 「やさしい子」**
特別支援学級と通常の学級との連携を密にし、特別支援教育の視点での教育環境を整備し、障がいの有無にかかわらず全教職員で児童の指導に当たる。





小平第五小学校

所在地 小平市花小金井六丁目24番1号
 電話 042-461-9300 FAX 042-461-9423
 電子メール gakkou@05.kodaira.ed.jp
 校長 松本 雅史 副校長 矢巻 尚美
 児童数 756名
 学級数 28学級(うち特別支援学級(知的障害〔固定〕)4学級)
 教職員数 41名

【沿革】(抜粋)

- 昭和32年 小平町小平第五小学校として開校
 39年 分校独立し小平第八小学校となる
 41年 10周年記念式典
 42年 分校独立し小平第十一小学校となる
 48年 分校独立し花小金井小学校となる
 くすの木学級開級
 51年 20周年記念式典
 52年 「すすんで活動する学級会」研究発表
 58年 鉄筋校舎落成記念式典
 60年 東京都帰国子女教育推進校指定
 61年 自律心育成のためのノーチャイムの導入
 62年 30周年記念式典
 平成3年 「主体的に表現する子」研究発表会
 6年 「児童の主体性を育てる指導」研究発表会
 9年 くすの木学級閉級し小平第十四小学校へ新設
 さくら学級(知的障害)開級
 40周年記念式典
 11年 小平市研究推進校協力校指定
 12年 「思いやりのある子を育てる」研究発表会
 13年 ボランティア推進校の指定(3年間)
 15年 児童用パソコン20台設置
 16年 防犯対策連絡会発足
 少人数学習指導導入
 18年 小平市特色ある教育活動推進校指定
 校舎増築及び改修工事
 19年 小平市研究推進校指定「ICT活用推進事業」
 50周年記念式典
 20年 小平市研究協力校指定「かかわり合い 共に学ぶ
 力を育てる 指導法の工夫」— 自ら考え表現す
 る活動を通して—
 研究発表会
 24年 小平市特色ある教育活動推進校指定
 25年 空調設備設置工事
 29年 校舎増築 60周年記念式典
 31年 新校舎完成(東部公園側)
 令和元年 30年度、31年度小平市教育委員会研究推進校指定
 「追究する力を高める指導の工夫」— 地域の人・も
 の・ことを生かした授業づくりを通して—
 研究発表会
 2年 コミュニティ・スクール設置
 5年 教科担任制導入(モデル校指定)
 特色ある教育活動推進校
 6年 小平市教育委員会研究推進校(2年次)

【教育目標】

- すすんで学び (主体的に課題解決していく子ども)
 元気で (心も体もたくましい子ども)
 ○思いやりのある子 (豊かな人間性をもち互いに助け合っ
 ていける子ども)



【教育目標を達成するための基本方針】(抜粋)

- 1 学力向上
 次代を担う子どもたちが自らの力を発揮し、自己実現を果たすために、一人一人に確かな学力を身に付けさせる。習熟度別指導(算数)や高学年教科担任制などの指導形態の工夫・改善、デジタル教科書などICTの活用を行い、発達段階に即し個性に応じた指導を実施する。
- 2 健全育成
 「小平第五小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止への徹底した取組を行い、誰に対しても思いやりのある心豊かな児童の育成を推進する。子どもが「自分の生命は自分で守る」という意識がもてるよう、「安全」や「防災」についての教育・指導を充実させる。異年齢集団活動を通し、児童相互が共に学び、自主的、協調的に働きかける等、社会性を育成する。
- 3 特別支援教育
 一人一人の子どもを理解し、その子に応じた能力を伸ばしていく。特別支援学級と通常の学級との積極的な交流活動を行い、人間関係の醸成に努め、共生しようとする態度の育成を図る。
- 4 地域と連携した教育活動
 コミュニティ・スクールとして、地域と共にある学校を目指して、「保護者支援・高齢者交流事業、SDGs推進事業、地域防災・防災教育推進事業」の取組を充実させる。
- 5 校内研究
 「持続可能な社会を創造する児童の育成」を目指し、「SEKAIとのつながりを通して未来に向かって動き出す子どもたち」を主題に研究をすすめる。低学年は生活科、中学年・高学年は総合的な学習の時間を中心として学習を推進していく。



学習者用端末を活用した授業



小平第六小学校

所在地 小平市小川東町三丁目1番2号
 電話 042-341-0356 FAX 042-341-7467
 電子メール gakkou@06.kodaira.ed.jp
 校長 屋代 弘一 副校長 廣瀬 美香
 児童数 509名 学級数 19学級
 教職員数 37名

【沿革】 (抜粋)

昭和35年 小平町立小平第六小学校として開校
 38年 校歌制定
 平成8年 新校舎起工式
 12年 「地域に開かれた学校づくり」東京都教育委員会表彰
 文部省より学校給食優良校表彰
 13年 小川東小学校と統合
 14年 二中地区地域教育サポートネット事業開始
 15年 人権教育開発事業
 18年 文科省よりキャリア教育で表彰
 19年 東京都教育委員会より学校支援ボランティアの推進で表彰
 東京都食育推進研究指定校の指定
 コミュニティ・スクールの指定
 20年 東京都スポーツ教育推進校の指定
 21年 文部科学省外国語活動実践研究校
 東京都食育推進事業生産体験推進事業実践校
 23年 文部科学省栄養教諭による食育推進事業の指定
 24年 小平市教育研究推進校・文部科学省食育推進校研究発表会
 文部科学省国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
 25年 文部科学省食育推進校(3年目)
 26年 東京都学校動物飼育推進校
 27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28年 小平市教育研究推進校
 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 アクティブライフ研究実践校
 29年 小平市教育研究推進校(2年目)
 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 アクティブライフ研究実践校(2年目)
 30年 アクティブライフ研究実践校研究発表会(3年目)
 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 令和2年 開校60周年
 3年 小平市教育委員会研究推進校
 4年 小平市教育委員会研究推進校研究発表(2年目)
 6年 東京都教科担任制推進校
 コミュニティ・スクール6期18年目

【教育目標】

人間尊重の精神を基調に、生涯学び続ける国際性豊かな日本人の育成を目指して、教育目標の具現に努める。

- ・元気でじゃぶな子 ・よく考えてやりぬく子
- ・仲よくできる子 ・進んで働く子



バルーンリリース

【教育目標を達成するための基本方針】

- ① 確かな学力の向上
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の充実
 - ・教科担任制の充実 ・学習評価の充実 ・読書活動の充実
 - ・GIGAスクール構想の円滑な推進
 - ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得
 - ・プログラミング教育の充実 ・家庭学習の習慣の定着
- ② 豊かな心の育成
 - ・学年団による生活指導の充実
 - ・人権教育の推進と道徳教育の充実 ・六つの生活名人
 - ・児童の発意 ・発想を生かした特別活動
 - ・いじめ防止の対応に向けた取り組み
 - ・不登校児童への対応 ・長期欠席児童の居場所づくり
 - ・六小スタンダード ・キャリアパスポート
- ③ 健やかな体の育成
 - ・運動習慣の定着と体力の向上(コダイラスロン)
 - ・運動時等の安全管理の徹底(脱水、熱中症、誤嚥など)
 - ・規則正しい生活習慣の推進 ・健康・安全教育の充実
 - ・給食と食育に関する指導の充実 ・食物アレルギー対応
- ④ 特別支援教育の充実
 - ・特別な配慮を要する児童への組織的な対応
 - ・ひまわり(特別支援教室)と担任等との連携した特別支援教育の充実(校内委員会の充実)
 - ・教育相談体制の充実
 - ・特別支援理解教育の推進
 - ・特別支援学校との交流及び共同学習の充実
- ⑤ 校内研究の充実
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて(問題解決型の学習の充実)
- ⑥ 長期欠席児童の居場所作り
 - ・学校経営協議会、NPO法人との連携
 - ・「六小未来カフェ」の定期開催
- ⑦ ライフ・ワーク・バランスの推進
 - ・副担任制による円滑な学年経営の推進
 - ・教職員が課題を一人で抱え込むことなく、共有、協働することができる相談体制づくり
 - ・校内OJTの更なる推進
 - ・校務改善に資する地域人材、エデュケーションアシスタント、スクール・サポート・スタッフ等との連携促進
- ⑧ コミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が一体となった地域参画型教育を推進し、地域人材の積極的活用及び地域教材の学習を継続する。



小平第七小学校

所在地 小平市大沼町一丁目22番1号
 電話 042-341-0664 FAX 042-341-3183
 電子メール gakkou@07.kodaira.ed.jp
 校長 神子 知浩 副校長 林 崇
 児童数 640名 学級数 21学級
 教職員数 37名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和37年 小平市立小平第七小学校開校
 38年 校章、校歌制定
 41年 東京都研究奨励校（理科）、校舎完成
 43年 プール完成
 44年 小平市研究推進校（算数）
 46年 体育館完成、校庭拡張
 47年 開校10周年記念式典
 57年 開校20周年記念式典
 59年 新校舎完成、校庭整備、プール更衣室完成
 60年 40人学級実施 27学級、プール機械室完成
 平成4年 開校30周年記念式典
 7年 小平市研究奨励校
 8年 ボランティア活動普及事業協力校（3年間）
 10年 「人権の花」運動実施校
 11年 ボランティア活動推進校（3年間）
 12年 プール温水シャワー設置、校庭改修
 13年 パソコン教室設置
 14年 開校40周年記念式典
 19年 体育館耐震補強工事
 21・22年 小平市研究推進校
 24年 開校50周年記念式典、特色ある教育活動
 25年 文部科学省コミュニティ・スクールの推進への取組研究委託校
 26年 コミュニティ・スクールに指定
 通級指導学級「はなみずき」開設
 26・27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 27・28年 小平市研究推進校（体育）
 28年 オリンピック・パラリンピック教育重点校
 東京都ICT教育環境整備支援事業推進校
 子供の体力向上推進優秀校
 小平市研究推進校研究発表会（体育）
 29年 東京都ICT教育環境整備支援事業発表会
 東京学芸大学教育実践研究センター/3市連携IT活用コンソーシアム共同研究校発表会
 全国学校体育研究優良校
 東京都小学校体育研究会研究推薦校発表会
 30年 小平市特色ある教育活動推進校（プログラミング教育）
 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰（小平七小コミュニティ・スクール）
 31年 子供の体力向上推進優秀校
 令和2・3年 小平市教育委員会研究推進校
 （特別の教科 道徳）
 4年 開校60周年記念行事

【教育目標】

日本国憲法及び教育基本法に則り、本校及び地域社会の実態に基づき、次の目標を掲げ、その達成に努める。

- ◎よく考える子
- ◎いつも元気な子
- ◎こころのやさしい子



【教育目標を達成するための基本方針】

- [確かな学力の定着と向上] 「主体的・対話的で深い学び」を大切に、他者の考えを聞きながら、自分の考えを確かなものにできる児童の育成を目指す。
- [たくましく生きる力の育成] 「日常的な挨拶の指導」を徹底し、いつでも、どんなことにも、すすんで粘り強く取り組むことができる児童の育成を目指す。
- [豊かな心の育成] 「人権を尊重する学級経営」を進め、自他の生命を大切にするとともに、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成を目指す。
- [情報教育の推進] ICT機器を積極的に活用し、視覚的に分かりやすい授業、そして、児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
- [特別支援教育の充実] 児童が落ち着いた学校生活を送ることができるような環境づくりを目指す。また、特別支援教室「はなみずき」学級の指導が効果的になるよう通常学級との連携を図る。他校への巡回指導日が多いため、共通理解や相談をする時間を設定する。同時に保護者の理解、協力を得られるように取り組んでいく。
- [キャリア教育の推進] 児童が、将来、社会人として自立して生きる力の基礎を育成する。そのために、他者との関わりを通して自尊感情を高めたり、一人一人のよさを認め合ったりできるようにする。また、系統的な心の教育がキャリア教育の推進には不可欠であるという観点から、その具現化を図る。
- [学年会の充実と研究・研修の活性化] 教科担任制のため、学年会の充実と校内研究を学校経営の大きな柱とする。校内研究については、「表現力」を高める指導の在り方を追究し、重点目標「よく考える子」の具現化を目指す。
- [コミュニティ・スクールの推進] コミュニティ・スクール11年目となる。地域の中の学校として、家庭・学校・地域が同じ方向性で子どもたちを育てられるよう、地域の声や保護者の願いを生かして学校経営を行う。また、小・中連携及び地域連携を推進するとともに近隣幼稚園や保育園とも連携していく。



開校60周年キャラクター



小平第八小学校

所在地 小平市鈴木町一丁目355番地
電話 042-321-4872 **FAX** 042-321-4893
電子メール gakkou@08.kodaira.ed.jp
校長 井口 修 **副校長** 小嶋 信夫
児童数 713名 **学級数** 23学級
教職員数 32名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和39年 小平市立小平第八小学校開校
校章制定
- 41年 校庭築山 (はちのこ山) 完成
- 44年 たて穴式住居発見される (校庭東側)
小平第八小学校校歌制定
プール完成
- 49年 体育館新築工事竣工
- 62年 校舎大改修<窓枠アルミサッシ化、トイレ、特別
教室床、天井>
- 平成12年 校舎耐震工事、廊下一部張替
- 13~15年 ボランティア活動普及事業協力校
- 14・15年 豊かな体験活動研究協力校
- 15・16年 学校給食における学校・家庭・地域連携推進校
- 17年 小平市研究協力校 研究発表会
- 18年 「こだいら地域子ども教室」の活動が認められ、
文部科学大臣より感謝状
- 19年 研究発表会<都小体研、市研究推進校>
- 20年 小平市教育研究協力校
- 21年 体育館耐震補強工事
コミュニティ・スクール推進事業受託
- 22・23年 東京都人権尊重教育推進校
コミュニティ・スクール指定校
キャリア教育優良校 (文部科学省)
- 25年 キャリア教育研究発表会
- 26年 開校50周年記念式典・祝賀会
- 27年 東京都教育委員会子供の体力向上推進優秀校受賞
東京都教育委員会言語能力向上拠点校
- 29年 小平市教育委員会特色ある教育活動推進校
特別支援教室開室
- 令和2年 北校舎外壁改修工事
- 3年 南校舎外壁改修工事
- 4年 西校舎増築工事竣工
- 5年 体育館空調設備工事
- 6年 開校60周年記念式典
小平市教育委員会研究推進校 (1年次)

【教育目標】

学習指導要綱に基づき、東京都教育委員会の教育目標及び基本方針、小平市教育振興基本計画を踏まえて教育課程を実施する。「確かな学力、豊かな人間性、健康な体」を基盤とし、コミュニティ・スクールとして、保護者、地域が一体となった学校づくりを目指す。地域に根ざした教育活動を推進することによって、「思いやりがあり心豊かな子」「すすんで社会に貢献しようとする子」「自ら学ぶ創造力豊かな子」「健康でたくましい子」の育成を目指し、次のとおり、教育目標を設定する。

- ◎思いやりのある子 (重点)
- ◎よく働く子
- ◎工夫する子 (重点)
- ◎元気な子



ブロック班活動
(はちの子まつり)



【教育目標を達成するための基本方針】

- ア 全教育活動を通して、生命尊重の心や自尊感情・自己肯定感、互いを尊重し合う態度を育むとともに、差別や偏見の解消を図るために、人権尊重の教育を推進する。
- イ 互いのよさを生かして多様な他者と協働する力を身に付けさせるとともに、他者に貢献する態度を育む。
- ウ 児童の状況を把握し、いじめの早期発見、早期解消に努め、いじめをなくす指導を徹底する。
- エ 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得、定着させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む。併せて、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を図る。
- オ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習の取り組む態度の涵養を目指し、カリキュラム・マネジメントを推進する。
- カ 体験学習を通して夢や感動を与える教育活動を実践し、児童の学習意欲や問題解決能力を高めるとともに、家庭と連携し、児童の学習習慣の確立を図る。
- キ 各教科における言語活動を充実させ、コミュニケーション能力の育成及び言語能力の育成を図る。
- ク 心身の調和的発達を目指し、体育的活動や外遊びを通じて体力を養うとともに、食育の充実を図り、望ましい食習慣、また、規則正しい健康的な生活習慣の確立を図る。
- ケ 発達年齢に応じた児童発案の活動を取り入れながら、児童が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができることを目指す。自尊感情、自己有用感・肯定感を育み、将来に対する夢や希望をもつ児童を育成する。
- コ 特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等を活用し、児童一人一人を大切にすきめ細やかな指導を行い、安心できる学級づくりを目指す。
- サ 地域教材を積極的に取り入れ、地域人材や教育力の導入を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。
- シ 中学校、幼稚園、保育園との接続を踏まえ、児童の健全育成について連携を図っていく。花小金井南中学校区の小・中学校が連携して、教育諸課題の解決に向けた教育活動の改善を図る。
- ス コミュニティ・スクールとして、学校と保護者、地域が一体となった学校づくりを目指す。学校行事、学校公開、学校だより、ホームページ等で、日々の教育活動の様子を伝える。
- 「八小コミュニティ・スクール」として、学校経営協議会の組織及び運営方法等をさらに充実・改善する。総務部会、及び学校・地域支援部会の活性化を図る。
- 放課後子ども教室、土ようひろばなどを通じて、保護者・地域の方々と児童との交流を深め、本校の教育活動のさらなる発展・進化を図る。



小平第九小学校

所在地 小平市鈴木町一丁目82番地
 電話 042-341-4340 FAX 042-341-3606
 電子メール gakkou@09.kodaira.ed.jp
 校長 米持 淳一 副校長 村井 純平
 児童数 441名
 学級数 17学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）
 教職員数 25名

【沿革】（抜粋）

昭和40年 小平市立小平第九小学校開校
 校歌「青い風だよ」制定
 41年 理科指導小平市研究指定校
 45年 プール完成
 50年 開校10周年記念式典
 51年 プレハブ教室解消 体育館完成
 55年 開校15周年記念式典
 60年 開校20周年記念式典
 63年 観察池、流水実験池完成
 平成7年 開校30周年記念式典
 8年 小平市教育委員会研究奨励校
 12年 コンピュータールーム完成
 16年 特別支援学級「ポプラ学級」開設
 17年 開校40周年記念式典
 19年 小平市教育委員会研究協力校研究発表（体育）
 22年 小平市研究推進校（国語）
 23年 小平市研究推進校（国語；二次研究発表）
 25年 教職大学院連携協力校
 校舎内空調設備設置
 26年 教職大学院連携協力校
 小平市特色ある教育活動推進校
 27年 教職大学院連携協力校
 開校50周年記念式典
 28年 小平市特色ある教育活動推進校
 28・29年 東京都公立小中学校ICT教育環境整備事業実施校
 30・31年 小平市特色ある教育活動推進校
 31年 コミュニティ・スクール推進校
 令和2年 コミュニティ・スクール設置
 4・5年 東京都人権尊重教育推進校
 小平市教育委員会研究推進校（人権尊重教育）
 6・7年 東京都小学校動物飼育推進校

【教育目標】

- ・よく考えずんで学ぶ子
- ・助け合うやさしい子
- ・心も体もたくましい子



動物飼育の様子



【教育目標を達成するための基本方針】

- 「助け合うやさしい子」の育成を重点目標とし、全教育活動の中で互いに認め励まし合う経験を通して、生命を大切にすることや、自分や他者の良さに気づき、相手を思いやる心を育てるとともに、豊かな人間性や社会性を養い、正しい人権意識や規範意識を身に付けさせる。
- 全教職員が人権尊重の理念を共通理解し、組織的、計画的に人権教育を通じて育てたい資質・能力を明らかにした研究活動を推進する。
- 学校で飼育している動物等との飼育体験や触れ合い活動を通して、命の大切さや他者への思いやりの気持ちを深め、生命の有限性や自然の大切さ、生命尊重の精神を涵養する。
- 特別活動の取組を充実させ、児童がお互いの意見の違いを受け入れ、よさを生かしながら合意形成を図ったり、効果的に自己決定につなげる活動を通して、問題解決に取り組む実践的な力を育成する。
- 「よく考えずんで学ぶ子」の育成を目指し各教科の基礎的な知識・技能の定着を図る。「分かる授業づくり」に向け、教員の指導力を高めるとともに、児童の思考力・判断力・表現力を育てる。
- 学年に応じて、教科担任制を実施し教科の専門性を高めながら、学年担任として児童の育ちに必要な資質・能力を育んでいく。
- 小平第三中学校区の小・中連携教育を推進・充実することを通して、連続性のある学びを展開し、将来の自分を思い描き、夢をもって学び続ける児童を育成する。また、近隣の幼稚園・保育園との交流を深め、入学後の児童の望ましい教育環境を整える。
- 社会に開かれた教育課程の理念のもと、高齢者施設との交流や放課後子ども教室、ハッピー丸、ゲストティーチャーとの体験学習を通して様々な人と触れ合い生き方や考え方を学び、豊かな人間性を育てる。
- 総合的な学習の時間を中心に豊かな体験活動に取り組み、地域の特色を生かした探究的な学習活動を推進する。また、学校図書館を活用した読書活動を推進し、児童の考えを伝えたり交流したりする言語活動を充実させることで、児童の言語力・言語感覚を豊かにする。
- 「心も体もたくましい子」の育成を目指し、体育・道徳・特別活動・生活指導の充実と「楽しみながら運動プログラム」の活用により、健康を大切に思い、体を動かすことに親しみ、心身ともに健やかに、安全に生活しようとする態度を育てる。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に、担任（固定学級含む）、特別支援教室専門員、SC、SSW、巡回相談員、市内通級指導学級、特別支援教室巡回指導教員、教育相談室等との連携を図り、特別支援教育の充実と組織的な対応を推進する。
- 保護者・学校経営協議会・青少対・地域・関係諸機関との連携をさらに強化し、学校便りやホームページを活用して情報を発信する。学校公開・アンケート・学校保健委員会等で保護者・地域の声を広く求め、要望等を謙虚に受け止め、開かれた学校づくりを推進するとともに、学校評価等を学校改善に反映させる。